

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成23年2月1日

**【四半期会計期間】** 第82期第2四半期(自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)

**【会社名】** 株式会社和井田製作所

**【英訳名】** WA I D A M F G . C O . , L T D .

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 岩崎 年男

**【本店の所在の場所】** 岐阜県高山市片野町2121番地

**【電話番号】** 0577 ( 32 ) 0390 ( 代表 )

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長兼経理部長 名和 芳治

**【最寄りの連絡場所】** 岐阜県高山市片野町2121番地

**【電話番号】** 0577 ( 32 ) 0390 ( 代表 )

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長兼経理部長 名和 芳治

**【縦覧に供する場所】** 株式会社和井田製作所 東京支店  
(東京都港区西新橋二丁目18番2号)

株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第81期 第2四半期連結 累計期間	第82期 第2四半期連結 累計期間	第81期 第2四半期連結 会計期間	第82期 第2四半期連結 会計期間	第81期
会計期間	自 平成21年 6月21日 至 平成21年 12月20日	自 平成22年 6月21日 至 平成22年 12月20日	自 平成21年 9月21日 至 平成21年 12月20日	自 平成22年 9月21日 至 平成22年 12月20日	自 平成21年 6月21日 至 平成22年 6月20日
売上高 (千円)	1,149,201	2,565,986	845,716	1,639,769	3,652,366
経常利益又は 経常損失( ) (千円)	336,973	108,438	173,455	176,203	305,999
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( ) (千円)	369,683	16,713	111,363	169,864	57,052
純資産額 (千円)			3,676,014	4,034,196	3,985,272
総資産額 (千円)			7,168,072	7,201,494	7,217,475
1株当たり純資産額 (円)			554.56	608.59	601.21
1株当たり四半期純利益 金額又は四半期(当期)純 損失金額( ) (円)	55.21	2.52	16.69	25.63	8.56
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)					
自己資本比率 (%)			51.3	56.0	55.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	320,528	189,779			562,842
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,816	5,848			314,331
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	270,305	279,682			676,429
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)			1,190,314	756,222	846,348
従業員数 (名)			149	146	146

- (注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
2 第81期第2四半期連結累計期間、第81期第2四半期連結会計期間及び第81期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
3 第82期第2四半期連結累計期間、第82期第2四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成22年12月20日現在

従業員数(名)	146〔15〕
---------	---------

- (注) 1 従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であります。
- 2 従業員数欄の〔 〕外書表示は、臨時従業員の当第2四半期連結会計期間の平均雇用人員(1日8時間換算)であります。
- 3 臨時従業員には、パートタイマー及び臨時契約の従業員を含み、派遣社員を除いております。

### (2) 提出会社の状況

平成22年12月20日現在

従業員数(名)	129〔12〕
---------	---------

- (注) 1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。
- 2 従業員数欄の〔 〕外書表示は、臨時従業員の当第2四半期会計期間の平均雇用人員(1日8時間換算)であります。
- 3 臨時従業員には、パートタイマー及び臨時契約の従業員を含み、派遣社員を除いております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

当社グループは、「第5 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、生産、受注及び販売の状況につきましては品目別に記載しております。

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
金型関連研削盤	763,532	196.0
切削工具関連研削盤	728,271	190.6
その他の機械	68,622	284.7
アフターサービス	182,893	150.4
合計	1,743,320	190.0

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

当第2四半期連結会計期間における受注実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
金型関連研削盤	566,757	212.6	734,742	263.4
切削工具関連研削盤	525,877	169.7	1,245,700	326.6
その他の機械	11,267	70.0	10,361	19.1
アフターサービス	182,893	150.4		
合計	1,286,794	180.2	1,990,803	278.6

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
金型関連研削盤	737,718	235.5
切削工具関連研削盤	655,552	166.9
その他の機械	63,606	351.9
アフターサービス	182,893	150.4
合計	1,639,769	193.9

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結会計期間		当第2四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社タンガロイ	363,780	43.0		
株式会社然湖電子	125,000	14.8		
TAEGU TEC LTD.			175,920	10.7

- 3 当第2四半期連結会計期間の株式会社タンガロイ、株式会社然湖電子及び前第2四半期連結会計期間のTAEGU TEC LTD.については、当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。

## 2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当第2四半期連結会計期間における財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析は次のとおりであります。なお、文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間における我が国経済は、企業収益改善等から設備投資は下げ止まり、受注環境は改善しつつあるものの、円高の長期化懸念及び先行き不透明感を受けて足踏み状態となり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

工作機械業界におきましては、内需では工作機械の世界三大見本市であるJIMTOF2010(日本国際工作機械見本市)の効果等により平成22年11月の月次受注総額は平成20年10月以来の300億円超えの309億円を記録いたしました。一方、外需では中国を中心としたアジア地域及び欧州の伸長により回復基調が続いており、平成22年11月の月次受注総額は平成21年1月をボトムとする回復局面で最高額となる967億円を記録し、堅調な回復傾向が続いております。

このような状況の下、当社グループは、JIMTOF2010(日本国際工作機械見本市)に戦略製品を出品するとともに、当社子会社のWAIDA Europe GmbHにおいて内覧会を開催する等、積極的な営業展開を図ってまいりました。また、当社グループのコア技術を活かした特定ユーザーとのコラボレーションを継続的に行い、新事業の創造に努めてまいりました。さらに、製品の一部について内製化を行うことで変動費比率を低減するとともに継続的な固定的経費の圧縮及び生産革新運動の推進等により、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当社グループは、当第2四半期連結会計期間において、売上高は1,639百万円(前年同期比93.9%増)、営業利益は182百万円(前年同期は167百万円の営業損失)、経常利益は176百万円(前年同期は173百万円の経常損失)、四半期純利益は169百万円(前年同期は111百万円の四半期純損失)となりました。

当社グループは、「第5 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析は品目別に記載しております。品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### 金型関連研削盤

国内市場及び中国・アジア地域を中心とした海外市場において、前年同期を大きく上回り順調に推移いたしました。この結果、売上高は737百万円(前年同期比135.5%増)となりました。

#### 切削工具関連研削盤

国内市場では緩やかな回復基調のもと堅調に推移し、海外市場ではアジア地域を中心に前年同期を大きく上回り順調に推移いたしました。この結果、売上高は655百万円(前年同期比66.9%増)となりました。

#### その他の機械

国内外の市場において、NCプロッター(作図機)を中心として堅調に推移し、売上高は63百万円(前年同期比251.9%増)となりました。

#### アフターサービス

アフターサービス(有償修理)及びメンテナンス部品については、継続的な回復基調を受けて、売上高は182百万円(前年同期比50.4%増)となりました。

## (2) 財政状態の分析

### 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少し、7,201百万円となりました。これは、主として商品及び製品が31百万円、仕掛品が96百万円、機械装置及び運搬具（純額）44百万円増加し、現金及び預金が90百万円、受取手形及び売掛金が100百万円減少したことなどによります。

### 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、3,167百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が90百万円増加し、長期借入金が202百万円減少したことなどによります。

### 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、4,034百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が85百万円増加し、利益剰余金が29百万円減少したことなどによります。

## (3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、第1四半期連結会計期間末に比べ212百万円減少し、756百万円となりました。当第2四半期連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、240百万円(前年同四半期は260百万円の減少)となりました。増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益171百万円、減価償却費46百万円、仕入債務の増加80百万円等であり、減少の主な内訳は、売上債権の増加81百万円等であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、14百万円(前年同四半期は47百万円の減少)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出15百万円等であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、441百万円(前年同四半期は149百万円の減少)となりました。これは主として、短期借入金の返済による支出320百万円及び長期借入金の返済による支出121百万円等であります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間の研究開発費の総額は44百万円であります。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成22年12月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年2月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,028,000	7,028,000	大阪証券取引所 J A S D A Q (スタンダード)	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式 単元株式数は100株であります。
計	7,028,000	7,028,000		

平成22年10月12日付けの大阪証券取引所 J A S D A Q 市場、同取引所ヘラクレス市場及び同取引所 N E O 市場の各市場の統合に伴い、当社は大阪証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) へ上場しております。

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成22年9月21日～ 平成22年12月20日		7,028,000		843,300		881,244



(6) 【大株主の状況】

平成22年12月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
和井田 倅生	岐阜県高山市	430,060	6.12
和井田 光生	岐阜県高山市	426,500	6.07
株式会社和井田製作所	岐阜県高山市片野町2121	399,242	5.68
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8-26	331,400	4.71
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	331,000	4.71
和井田製作所従業員持株会	岐阜県高山市片野町2121	252,300	3.59
和井田 叔子	岐阜県各務原市	250,000	3.56
シチズンマシナリー株式会社	長野県北佐久郡御代田町御代田4107-6	200,000	2.85
株式会社ナガセスッポン養殖場	岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯362-1	153,100	2.18
小野 和子	大阪府柏原市	145,000	2.06
計		2,918,602	41.53

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成22年12月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 399,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,628,100	66,281	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
単元未満株式	普通株式 700		同上
発行済株式総数	7,028,000		
総株主の議決権		66,281	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が42株含まれております。

【自己株式等】

平成22年12月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社和井田製作所	岐阜県高山市片野町2121 番地	399,200		399,200	5.68
計		399,200		399,200	5.68

## 2 【株価の推移】

### 【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	418	390	392	415	405	457
最低(円)	352	338	343	351	357	399

- (注) 1 最高・最低株価は、大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)におけるものであります。平成22年10月12日付けの大阪証券取引所JASDAQ市場、同取引所ヘラクレス市場及び同取引所NEO市場の各市場の統合に伴い、当社は大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)へ上場しております。
- 2 当該6月間における月別最高・最低株価は、毎月1日より月末までのものであります。

## 3 【役員の状態】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

### 役職の異動

役員の氏名	新役名及び職名	旧役名及び職名	異動年月日
土田 民和	常務取締役 (製造・管理担当兼内部監査室長)	常務取締役 (製造・管理担当)	平成22年12月21日
名和 芳治	取締役 (管理本部長兼経理部長兼法務室長)	取締役 (管理本部長兼経理部長)	平成22年9月21日
	取締役 (管理本部長兼経理部長)	取締役 (管理本部長兼経理部長兼法務室長)	平成22年12月21日

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間(平成21年9月21日から平成21年12月20日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成21年6月21日から平成21年12月20日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成22年9月21日から平成22年12月20日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成22年6月21日から平成22年12月20日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間(平成21年9月21日から平成21年12月20日まで)及び前第2四半期連結累計期間(平成21年6月21日から平成21年12月20日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間(平成22年9月21日から平成22年12月20日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成22年6月21日から平成22年12月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人日本橋事務所により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,196,322	1,287,048
受取手形及び売掛金	1,706,876	3 1,807,748
商品及び製品	101,925	70,060
仕掛品	1,023,218	926,231
原材料及び貯蔵品	454,012	450,904
その他	107,552	79,982
貸倒引当金	743	685
流動資産合計	4,589,164	4,621,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	921,981	956,152
機械装置及び運搬具(純額)	302,518	257,856
土地	890,892	898,464
その他(純額)	48,095	42,437
有形固定資産合計	1 2,163,488	1 2,154,911
無形固定資産	5,894	6,989
投資その他の資産		
投資有価証券	288,141	308,219
その他	157,936	129,268
貸倒引当金	3,130	3,203
投資その他の資産合計	442,947	434,284
固定資産合計	2,612,330	2,596,185
資産合計	7,201,494	7,217,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,793	3 334,691
短期借入金	390,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	404,808	425,142
未払法人税等	6,791	10,087
その他	308,741	241,249
流動負債合計	1,535,134	1,411,171
固定負債		
社債	600,000	600,000
長期借入金	812,178	1,014,582
退職給付引当金	75,715	61,635
長期未払金	139,740	139,740
その他	4,530	5,074
固定負債合計	1,632,164	1,821,031
負債合計	3,167,298	3,232,203

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月20日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	843,300	843,300
資本剰余金	881,244	881,244
利益剰余金	2,683,598	2,713,286
自己株式	310,636	310,636
株主資本合計	4,097,505	4,127,194
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,037	65,063
為替換算調整勘定	83,347	76,857
評価・換算差額等合計	63,309	141,921
純資産合計	4,034,196	3,985,272
負債純資産合計	7,201,494	7,217,475

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月21日 至平成21年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)
売上高	1,149,201	2,565,986
売上原価	859,023	1,603,478
売上総利益	290,177	962,508
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 636,214	<sup>1</sup> 842,269
営業利益又は営業損失( )	346,037	120,238
営業外収益		
受取利息	546	338
受取配当金	6,069	6,694
受取賃貸料	2,308	1,998
助成金収入	24,236	4,014
受取保険金	10,413	-
その他	3,292	3,496
営業外収益合計	46,866	16,542
営業外費用		
支払利息	29,110	24,769
為替差損	6,405	3,082
その他	2,285	489
営業外費用合計	37,802	28,342
経常利益又は経常損失( )	336,973	108,438
特別利益		
固定資産売却益	47	16,217
貸倒引当金戻入額	122	14
特別利益合計	170	16,232
特別損失		
固定資産除却損	1,729	-
投資有価証券評価損	28,334	105,179
その他	-	97
特別損失合計	30,064	105,276
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	366,867	19,393
法人税、住民税及び事業税	2,817	2,680
法人税等調整額	1	-
法人税等合計	2,816	2,680
少数株主損益調整前四半期純利益	-	16,713
四半期純利益又は四半期純損失( )	369,683	16,713

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年9月21日 至平成21年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)
売上高	845,716	1,639,769
売上原価	668,692	996,908
売上総利益	177,023	642,861
販売費及び一般管理費	1 344,819	1 460,072
営業利益又は営業損失( )	167,796	182,788
営業外収益		
受取利息	208	120
受取配当金	2,253	2,393
受取賃貸料	934	1,329
助成金収入	10,897	1,778
その他	1,725	1,291
営業外収益合計	16,019	6,913
営業外費用		
支払利息	14,556	11,539
為替差損	5,082	1,714
その他	2,041	245
営業外費用合計	21,679	13,499
経常利益又は経常損失( )	173,455	176,203
特別利益		
固定資産売却益	47	209
投資有価証券評価損戻入益	65,073	-
貸倒引当金戻入額	21	5
特別利益合計	65,142	215
特別損失		
固定資産除却損	1,729	-
投資有価証券評価損	-	5,131
その他	-	72
特別損失合計	1,729	5,203
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	110,043	171,214
法人税、住民税及び事業税	1,319	1,350
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	1,319	1,350
少数株主損益調整前四半期純利益	-	169,864
四半期純利益又は四半期純損失( )	111,363	169,864

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月21日 至平成21年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	366,867	19,393
減価償却費	101,988	88,714
退職給付引当金の増減額( は減少)	10,311	14,080
貸倒引当金の増減額( は減少)	122	14
受取利息及び受取配当金	6,615	7,033
支払利息	29,110	24,769
投資有価証券評価損益( は益)	28,334	105,179
固定資産売却損益( は益)	47	16,217
固定資産除却損	1,729	-
売上債権の増減額( は増加)	357,115	100,689
たな卸資産の増減額( は増加)	183,871	209,048
仕入債務の増減額( は減少)	27,894	144,565
その他の資産の増減額( は増加)	64,680	56,470
その他の負債の増減額( は減少)	8,157	9,519
小計	295,312	218,127
利息及び配当金の受取額	6,555	7,035
利息の支払額	28,863	25,730
法人税等の支払額	2,908	9,652
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,528	189,779
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	100	-
定期預金の払戻による収入	50,000	600
有形固定資産の取得による支出	51,744	18,331
有形固定資産の売却による収入	247	23,580
投資有価証券の取得による支出	1,219	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,816	5,848
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	400,000
短期借入金の返済による支出	-	410,000
長期借入金の返済による支出	232,364	222,738
リース債務の返済による支出	-	543
自己株式の取得による支出	37,941	-
配当金の支払額	-	46,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	270,305	279,682
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,437	6,071
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	603,087	90,126
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,401	846,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,190,314	756,222



【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年9月21日 至 平成22年12月20日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月21日 至 平成22年12月20日)	
会計処理基準に関する事項の変更	<p>資産除去債務に関する会計基準の適用</p> <p>第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。</p>

【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月21日 至 平成22年12月20日)	
(四半期連結損益計算書関係)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。</p>

当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年9月21日 至 平成22年12月20日)	
(四半期連結損益計算書関係)	<p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第2四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。</p>

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月21日 至 平成22年12月20日)	
固定資産の減価償却費の算定方法	<p>定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末 (平成22年6月20日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 3,799,396千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 3,719,120千円
2 受取手形割引高 112,358千円 (うち輸出手形割引高 112,358千円)	2 受取手形割引高 42,750千円 (うち輸出手形割引高 42,750千円)
3	3 連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。 受取手形 175千円 支払手形 22,078千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月21日 至平成21年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)
1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売諸掛 126,455千円 給与及び賞与 122,548千円 役員報酬 56,058千円 退職給付費用 6,061千円 減価償却費 18,882千円 旅費交通費 45,658千円 研究開発費 118,693千円	1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売諸掛 195,326千円 給与及び賞与 156,055千円 役員報酬 62,379千円 退職給付費用 8,270千円 減価償却費 15,640千円 旅費交通費 55,888千円 研究開発費 95,716千円

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成21年9月21日 至平成21年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)
1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売諸掛 69,753千円 給与及び賞与 60,548千円 役員報酬 28,029千円 退職給付費用 1,359千円 減価償却費 9,549千円 旅費交通費 22,390千円 研究開発費 67,110千円	1 販売費及び一般管理費の主なもの 販売諸掛 113,188千円 給与及び賞与 78,401千円 役員報酬 34,350千円 退職給付費用 2,511千円 減価償却費 9,444千円 旅費交通費 29,007千円 研究開発費 44,922千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月21日 至 平成21年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月21日 至 平成22年12月20日)
現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末 残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されてい る科目の金額との関係 (平成21年12月20日現在)	現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末 残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されてい る科目の金額との関係 (平成22年12月20日現在)
現金及び預金 1,630,414千円	現金及び預金 1,196,322千円
預入期間が3か月超の定期預金 440,100千円	預入期間が3か月超の定期預金 440,100千円
現金及び現金同等物 1,190,314千円	現金及び現金同等物 756,222千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年12月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成22年6月21日  
至 平成22年12月20日)

1 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	7,028,000

2 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	399,242

3 新株予約権の四半期連結会計期間末残高

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年9月16日 定時株主総会	普通株式	46,401	7.00	平成22年6月20日	平成22年9月17日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の  
効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年1月28日 取締役会	普通株式	46,401	7.00	平成22年12月20日	平成23年3月1日	利益剰余金

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年6月21日 至 平成21年12月20日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年6月21日 至 平成21年12月20日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年9月21日 至 平成21年12月20日)

	中国	アジア地域 (中国を除く)	その他の地域	計
海外売上高(千円)	80,226	134,411	7,592	222,229
連結売上高(千円)				845,716
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.5	15.9	0.9	26.3

(注) 1 海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2 国または地域の区分方法及び各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

中国 ..... 中国

アジア地域(中国を除く) ..... 台湾、韓国、東南アジア地域、南アジア地域等

その他の地域 ..... 米国、ヨーロッパ地域、アフリカ地域等

前第2四半期連結累計期間(自平成21年6月21日 至 平成21年12月20日)

	中国	アジア地域 (中国を除く)	その他の地域	計
海外売上高(千円)	105,798	149,226	13,974	268,999
連結売上高(千円)				1,149,201
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.2	13.0	1.2	23.4

(注) 1 海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2 国または地域の区分方法及び各区分に属する主な国または地域

(1) 国または地域の区分は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

中国 ..... 中国

アジア地域(中国を除く) ..... 台湾、韓国、東南アジア地域、南アジア地域等

その他の地域 ..... 米国、ヨーロッパ地域、アフリカ地域等

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成22年9月21日至平成22年12月20日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年6月21日至平成22年12月20日)

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年12月20日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年12月20日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末に比べて著しい変動がないため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年12月20日)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成22年9月21日至平成22年12月20日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成22年9月21日至平成22年12月20日)

該当事項はありません。

(資産除去債務関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年12月20日)

該当事項はありません。

(賃貸等不動産関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成22年12月20日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末 (平成22年6月20日)
608.59円	601.21円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末 (平成22年6月20日)
純資産の部の合計額(千円)	4,034,196	3,985,272
普通株式に係る純資産額(千円)	4,034,196	3,985,272
普通株式の発行済株式数(株)	7,028,000	7,028,000
普通株式の自己株式数(株)	399,242	399,242
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株)	6,628,758	6,628,758

2 1株当たり四半期純利益金額等

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月21日 至平成21年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)
1株当たり四半期純損失金額( ) 55.21円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 円	1株当たり四半期純利益金額 2.52円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 円

(注) 1 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月21日 至平成21年12月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月21日 至平成22年12月20日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益 又は四半期純損失( )(千円)	369,683	16,713
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失( )(千円)	369,683	16,713
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(株)	6,696,121	6,628,758

## 第2 四半期連結会計期間

前第2 四半期連結会計期間 (自 平成21年 9月21日 至 平成21年12月20日)	当第2 四半期連結会計期間 (自 平成22年 9月21日 至 平成22年12月20日)
1株当たり四半期純損失金額( ) 16.69円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 円	1株当たり四半期純利益金額 25.63円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 円

- (注) 1 前第2 四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。
- 2 当第2 四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
- 3 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失の算定上の基礎

項目	前第2 四半期連結会計期間 (自 平成21年 9月21日 至 平成21年12月20日)	当第2 四半期連結会計期間 (自 平成22年 9月21日 至 平成22年12月20日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益 又は四半期純損失( )(千円)	111,363	169,864
普通株式に係る四半期純利益 又は四半期純損失( )(千円)	111,363	169,864
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(株)	6,671,112	6,628,758

### (重要な後発事象)

該当事項はありません。

### (リース取引関係)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

第82期(平成22年6月21日から平成23年6月20日まで)中間配当については、平成23年1月28日開催の取締役会において、平成22年12月20日の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	46,401千円
1株当たりの金額	7円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成23年3月1日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月3日

株式会社和井田製作所  
取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 板橋 正志 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小倉 明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社和井田製作所の平成21年6月21日から平成22年6月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年9月21日から平成21年12月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年6月21日から平成21年12月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社和井田製作所及び連結子会社の平成21年12月20日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年2月1日

株式会社和井田製作所  
取締役会 御中

監査法人日本橋事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 板橋 正志 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小倉 明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社和井田製作所の平成22年6月21日から平成23年6月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成22年9月21日から平成22年12月20日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成22年6月21日から平成22年12月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社和井田製作所及び連結子会社の平成22年12月20日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。